

サービス評価結果提出届（兼受理書）

健康福祉局介護事業指導課 あて
御中

(太枠内のみ記入してください。)

		提出日: R5年2月19日									
届出者	サービス種別 (該当に○)	<input type="radio"/>	認知症対応型共同生活介護		<input type="radio"/>	介護予防 認知症対応型共同生活介護					
	事業所番号	1	4	7	0	2	0	1	1	7	7
	事業所名	愛の家グループホーム横浜菅田									
	事業所所在地	(〒 221-0864) 横浜市神奈川区菅田町 2975-75									
	担当者名	大河原 聰子									
	連絡先	電話	045-488-6280			FAX	045-488-6281				

次のとおり、資料を添えて提出します。

外部評価実施方法 ※実施した方法に○を記入してください	<input type="radio"/>	外部評価機関による評価	<input type="radio"/>	運営推進会議における評価	
外部評価受審結果表受理日又は運営推進会議における評価実施日	R5年 1月 28日				
添付書類 (チェック欄にレ)	チェック欄	<input checked="" type="checkbox"/>	自己評価及び外部評価結果*(外部評価の緩和適用年度は自己評価のみ)		
		<input checked="" type="checkbox"/>	目標達成計画(毎年度提出が必要です)		
		<input checked="" type="checkbox"/>	返信用封筒(84円切手を貼り、返信先を明記した長3封筒)		

※運営推進会議における評価の場合は、「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」を提出してください。

外部評価の緩和適用年度に提出する自己評価は神奈川県が定める様式を活用して提出してください。

(以下は記入しないでください。)

次のとおり、サービス評価結果報告書を受理しました。

報告書受理日	5年2月21日		実施年度	4年度		
受理内容	<input type="radio"/>	自己評価結果	<input type="radio"/>	外部評価結果	<input type="radio"/>	目標達成計画
次回実施期限	6年3月31日					

<次回外部評価実施後、評価機関から受審結果表を受理した日から1か月以内に報告書を提出して下さい>

<この受理書は再発行しません。外部評価の緩和の適用を受ける際に必要なため、保管してください>

【発行】横浜市健康福祉局介護事業指導課 電話 045-671-3466 FAX 045-550-3615

受付担当者:

中野



自己評価及び外部評価結果

1. 事業所概要

事業所番号	1470201177	実施年度	令和4年度
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム横浜菅田		
所在地	(221-0864) 横浜市神奈川区菅田町 2975-75		
サービス種別	<input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護 <input checked="" type="checkbox"/> 介護予防認知症対応型共同生活介護	定員	計 18 名 ユニット数 2 ユニット
自己評価作成日	2022年10月22日	評価結果 市町村受理日	

2. 運営推進会議開催日時・場所

日 時	R5年1月28日 11時～12時	場 所	愛の家グループホーム横浜菅田 リモート会議
-----	------------------	-----	-----------------------

3. 運営推進会議メンバー

区分	委員分野・主な役職等	人 数
委員	利用者又は利用者の家族	18人
	地域住民の代表者	2人
	当該サービスに知見を有する者	1人
	市の職員又は地域包括支援センターの職員	1人
事務局	管理者	1人
	計画作成担当者	1人
	介護従業者	2人

4. 事業所の特徴

オープンから18年目、順調に運営できており、ご家族満足度、スタッフ満足度共に毎年上位の評価を頂いている。認知症専門施設としての取り組み(コグニサイズ等)を積極的に実施。機能訓練と並行して自立支援にも力を入れ、ミニジムコーナーを設置するなどし、入居者様に楽しんで頂きながら身体機能の維持向上を行っている。離職も少なく寄り添ったケアができているホームである。

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1470201177	事業の開始年月日	平成17年5月1日
		指定年月日	平成18年4月1日
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム横浜菅田		
所在地	(〒221-0864) 横浜市神奈川区菅田町2975-75		
サービス種別 定員等	(介護予防) 認知症対応型共同生活介護	定員計 ユニット数	18名 2ユニット
自己評価作成日	2022年10月22日	評価結果 市町村受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

オープンから丸18年になります。順調に運営できており、地域でも選んで頂けるホームであると思っております。
 生活機能向上連携加算が導入される前から、リハビリ体操始め、機能訓練に特化した取組が充実しており、コグニサイズも7年前からほぼ毎日実施しております。
 その様な取り組みの結果、入居者様がご自宅にいらっしゃった時よりも身体的にお元気で表情も明るくなったり、とのご家族様からの評価を頂いております。
 その他、自立支援（水分、タンパク質、運動、減薬）にも力を入れており、楽しく運動して頂くために「よこはまきんに君」と題した「ミニジム」を設置し「サイクルマシン」や体幹を鍛える「バランスディスク」可動域を広げる「ゴムチューブ」等を使って楽しく運動をする時間を取っています。
 少しずつですが、良い方向に変化が見えてくるとスタッフのモチベーションも高くあり、離職者も少ないホームです。
 また、前期は法人内のCS/ESアンケートでは、お客様アンケート9位、スタッフ満足度では全国1位を頂く等、高評価を頂いております。
 充実した機能訓練とスタッフの接遇や関係性の良さは当ホームのアピールポイントです。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	運営推進会議委員による回答数22通		
所在地			
訪問調査日	2023年1月15日	評価機関決定日	2023年1月28日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

きめ細かいケアをしてくれている。
 リハビリ体操始め、機能訓練に特化した取組が充実している。
 散歩もほぼ毎日雨天以外は歩いている。工夫された機能訓練や細かい報告が有りがたい。等のご意見を頂きました（別紙添付します）
 その様な取り組みの結果、入居者様がご自宅にいらっしゃった時よりも身体的にお元気で表情も明るくなったり、とのご家族様からの評価を頂いております。
 「よこはまきんに君」と題した「ミニジム」はよく考えて実施しており他になく良い取り組みであると思います。
 スタッフの対応もいつも明るく、尋ねて行きやすいホームです。コロナが収束したら是非直接面会を希望します。等々。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「どこよりも入居したくなるホームを目指します」のホーム理念を掲げ地域に選ばれる様自立支援や機能訓練に尽力し1年間空室0となった。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス、オミクロン株の感染者増大にて面会の緩和はもとより地域とのつながりが日常的に行えなかつた。	(自由記入) 行動範囲が制限されているので交流は難しい。そのような環境の中、防災訓練等に近隣の町内会の防災班の役員の参加は心強い。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昨年11月からリモートにて運営推進会議を始めた中で日常の様子や活動等の動画を流し観て頂いたが動画はZoom参加の方に限定された。	(自由記入) 運営推進会議の直接対面に踏み切っていないが、状況が変われば対面式会議を実施したい。リモート会議はいつも偏った出席者になるも熱心なご意見助言を頂き、運営に活かしている。直近ではハマロードセンター申請の助言を頂いた。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営上で分からぬことやご家族様対応など、随時、報告し相談している。活動報告も書面にて送信している。	(自由記入) 地域包括との付き合いは密に取り合っており、認サボ講座を共同で開催している。フレイル予防の為にホームで設置したミニスポーツジム「ヨコハマくんくん」の取り組みは好評を頂いた。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に1回(3月)全職員に【高齢者虐待及び身体拘束について】の研修を行い、それとは別に、年に4回【虐待、身体拘束に関する研修】を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	(A~Dの中から1つ選択) A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束廃止委員会の存在がある点は理解している。過度な制限は反対だが反危険防止や職員のストレスにつながり兼ねず現場での実態に合わせた対応が適切である。 ・コロナ後入居したので内部に一度も立入れない状況での評価は難しい。	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に1回(3月)全職員に【高齢者虐待及び身体拘束について】の研修を行い、虐待に繋がらない様、スタッフのメンタルサポートも行っている。	(A~Dの中から1つ選択) A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「繰返しの研修や勉強会を実施しており職員の方々の意識は高いと思う。」と、ご家族からの評価を頂いた。	

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員に【プライバシー保護と権利擁護について】の研修を行っている。成年後見人の方も居られ、どの様な方に後見人制度が必要かを学んでいる。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	②. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時のみならず、契約前や契約後にも親切丁寧な説明を心がけ少しでも疑問や分からないうがあればすぐに確認していただけるように心がけている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者だけでなく、ケアマネジャー、介護職員、事務職員が、ご利用者様、ご家族様の声、時にはご利用者様の声にならない声(想い)をくみ取り、ケアプランに反映できるように支援している。又ご家族様に、横浜市や神奈川県にも相談窓口がある事をお伝えしている。	(A～D の中から 1 つ選択) A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプランの説明等の連絡以外にも相談事の電話を貰っている、とのご家族の回答があり、相談しやすさはあると思うが、運営推進会議への出席者に偏りはあり、議事録も読まれないご家族へのアプローチの仕方を考えるのが課題と思われる。	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	②. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の面談を3ヶ月毎に実施しており意見提案等を聞く機会は多くある。面談以外でも意見提案があればできるだけ早くに形にしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパス制度を導入し、スキルと給与を明確化している。ケアと業務についても連携を取りながら円滑に回っている。必要な残業手当を付けているが給与水準に関しては水準より低いと感じるスタッフは居る。	(A～D の中から 1 つ選択) A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「中の事は分かり兼ねる事が多く評価しづらい」と答えた方が多くおられた。キャリアアップにチャレンジする様やりがいを持って働くための環境と条件は整備されているのだと思う。	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社内研修やOJTに力を入れておりOJT担当の研修もある。資格支援制度では社内eラーニングを実施。リモートでの研修を受講できる。	(A～D の中から 1 つ選択) A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社内研修に力を入れており資格支援にもかなり力を入れている。コロナ禍によりリモート研修が多くなるようだが実施できていると思われる。	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている ②. あまりできていない D. ほとんどできていない	横浜市内のグループホーム連絡会はコロナ禍にて会合や勉強会には不参加。、地域の居宅のケアマネジヤーや介護事業者の管理者、相談員の方と情報交換は行っている。			

14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	ご入居者様の「できること」に着目し、職員とご入居者様が協力しグループホームでの生活を支援している。(調理補助や掃除、庭整備等)			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	面会を自粛して頂いていた為、お電話やZoomを活用した面会を積極的に取り入れコロナ禍でもできる努力をした。	(自由記入) 「面会を楽しみにされている方が大勢いらっしゃると思うので良い取り組みだと思います」というご移管が多かった。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	ご本人の希望や意向が消極的なものである場合の支援に悩むがご本人の為のプランやご家族の意向に目を向けた支援も必要であると思う。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	より良く過ごすための課題とケアのあり方に関し十分な課題分析の時間を取っている。生活機能向上に関しては理学療法士の専門的な助言から介護計画が作成出来ている。	(自由記入) 「大変な労力のいる仕事なので素晴らしいと思います」と言ったご意見を頂いた。	(A～Dの中から1つ選択) Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	「介護計画の説明を受けていますが家族の思いや意見をよく聞いて下さっていると思う。往診医や理学療法士等の意見が反映された計画書を確認している」と言ったご意見を頂きました。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	記録の電子化に伴い記録に反映する点でスタッフに差が出ていたが共有すべき事項の漏れが現時点ではほぼなくなっている。	(A～Dの中から1つ選択) Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない		「電子記録も徐々に制度を上げていると運営推進会議で聞いたことがある」というご意見を頂いた。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	コロナ感染者減少の折には直接面会もできたがこの1年は感染者数拡大によりホーム内完結のサービスしか出来ていない。	(自由記入) 「外出はできないですねー。私たちは、YouTubeで行った気になっています」というご意見があった。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	地域資源の活用は医療関係との協働が主だった気がする。他の支援はコロナ禍により消極的であった。ワクチン接種に関しては協働できていた	(自由記入) 地元の方が多いため、ホームの近隣をドライブしながら営業チラシを入居者様とポスティングすることも月に1回ほどあり、喜んで下さっている。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	入居者様の日常の体調を十分に把握した上で適切な診断と処方をして頂いている。急変時の助言や指示も24時間頂けるので頼りになる。		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	持病で入院された方について速やかに情報提供している。治療がある程度落ち着いたら退院の話を早い段階ですすめている。	(A~D の中から 1 つ選択) A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	法人の今期 10/1~8 月中旬辺りは入院0であった。老衰による入院の場合、ソーシャルワーカーとの連携にて病院とご家族との調整は誠意を持って対応している。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	グループホームで出来る範囲の終末期の介護を誠意を込めて行っている。病院、特養との介護(医療)の違いを説明し、ご理解頂けていると思う。	(A~D の中から 1 つ選択) A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	終末期については入居の際に説明があった。自己評価の通りだと思います。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	急変時の対応に不安を抱く事は当然であるが備えとして繰り返しての応急処置初期対応の定期的な研修の実施と準備、24時間医療機関の助言と指示の下実践力はついている。		
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	消防署の協力を得て年2回の防災訓練を実施しており、避難経路、手段の把握は出来ている。訓練時には地域住民の協力も得ている。ホーム側も非常食の貯えがあり避難所として提供できる体制にあることで地域との協力体制にある。	(自由記入)	(A~D の中から 1 つ選択) Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない 「運営推進会議やホーム便りにて避難訓練等の写真を見ることがあるので良くやって下さっていると思います。」というご意見を頂いた。
III. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	入居者様に対し人生の先輩としての経緯を忘れぬ様配慮した上でご本人が適切だと思う距離感でトイレ介助等実施している。入浴もできる範囲	(A~D の中から 1 つ選択) Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている	入居者に関して誠意を持って接していると感じる。(クリニックや薬局、訪問 PT 等から直接お褒めの言葉を頂く事もある)

				で同性介助としている。定期の研修を通じて引き続き、プライバシー保護に努めていく。	C. あまりできっていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己管理が困難となった方には何をしたら良いのか混乱される前に行動パターンの選択肢をお伝えすることもある。ご本人の希望を尊重したいがコロナ禍の外出希望には応じることが出来なかった。	(A~D の中から 1 つ選択) A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内に入れないで評価は難しい。自己評価の通りでしょう。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の準備や片付け、洗い物ができる方にはお手伝いを積極的にやって頂いている。人参や玉ねぎの皮むきは常時お願ひしている。	(A~D の中から 1 つ選択) A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内に入れないで評価は難しい。自己評価の通りでしょう。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自立支援の取り組み強化により水分と食事摂取量が増加した。取の重要性に目を向けプロテインも提供している。	(A~D の中から 1 つ選択) A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価の通りだと思う。というご家族からのご意見。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケアを介助している。磨き残し等の介助も実施している。一部拒まれる方の支援が不十分な点は、歯科医による口腔ケアを依頼している。	(A~D の中から 1 つ選択) A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価の通りであると思う。下剤の減量ができたことは良い。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自立支援ケアを導入により牛乳摂取量を増量し下剤の減量となった。排泄のパターンを掴み尿失禁の減少につながった。	(A~D の中から 1 つ選択) A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価の通りであると思う。下剤の減量ができたことは良い。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわず、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共同生活をしている上で全てのご利用者様に個々の要望に沿った入浴は提供できていないが、可能な限りの時間帯や同性介助で希望を聞いている。	(A~D の中から 1 つ選択) A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価の通りであると思う。下剤の減量ができたことは良い。

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息をしたり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている ④. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就寝前のゆったりとした時間が持てるよう配慮している。TV鑑賞の時間も尊重し、巡回時には近くに居る事を伝え安心して頂き、程よい空調で安眠できる様、支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている ④. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	命を預かる者として入居者様の処方内容は職員全員が把握できる様往診記録に詳細を記録し薬情も確認しながら服薬時にはWチェックした後、服用して頂いている。	(A~Dの中から1つ選択) A. 充分にできている ④. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価の通りであると思う。	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ④. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	得意分野で力を発揮することで自信が付き役立っていると思って生きる力になっていると感じるが今年もコロナ禍により希望の多い外出等の支援は出来ていなかった。 (自由記入) コロナ禍に於いては出来ることは限られているが、ホーム内でよく工夫していると思う。と言ったご意見を多くいただいた。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ④. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員17名中12名の職員があまりできていない、若しくはほとんどできていないと評価をしている。コロナ禍により外出等の支援は出来ていないが少人数でのドライブは実施していた。 (自由記入) 致し方ないと思われる。ご家族様もコロナ明けの活動を期待されている。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ④. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年もコロナ禍によりお金を使うような外出支援は出来ていなかった。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話支援はコロナ禍により逆に頻繁に支援したもの一つである。手紙の投函や切手購入の支援、また時に一筆箋のお便りをご家族様に送付している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、一	A. 充分にできている ④. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自席の他に中央にソファーを置き、時には自由に移動できる様に整えている。日当たりも良く季節を感じる花も庭に育っており至る所に生花を飾っている。	(A~Dの中から1つ選択) ④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	フロアの中央に応接セットが置いてあり誰でも休めるような良い空間となっていて良い感じだと思う。自席以外に好きな時に移動できる空間がある。	

		人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている				
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)						
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内では出来る範囲でご本人の願いはお聞きしているが1番多いご自宅に帰りたいご希望が聞けていない。		
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により友人等の対面での面会は支援できていない。ご本人の習慣や特徴等は把握して支援できている。		
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者様の健康観察に心がけ体調変化がある場合やいつもと様子が違うなどの変化が見られる場合は、ご家族様(キーパーソン)、往診医などと連携し情報共有している。	(A～Dの中から1つ選択) Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価の通りであると思う。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができる	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩の習慣のあった方には雨天以外、出来るだけお連れしている。昼寝の習慣のあった方には昼夜逆転にならない様、時間を決めて休んで頂いている。		
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅から持参された人形や写真、仏壇等、お持ちになっている。基本的に貴重品や高価な物以外の禁止はしていない。ご本人にとって大切なものは身近に置く様にしている。	(A～Dの中から1つ選択) Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人のご希望のものをたくさんご持参しておられる。収納が困難となった場合はご家族様にお持ち帰り頂き、交換して頂いている。物が溢れてしまい危険にならない様配慮している。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により外出が制限されているが1回忌と初孫の結婚式には十分に防疫のご協力を頂いた上で参加して頂いた。	(自由記入) ケースバイケースで対応できていると思う。	

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	その方に合った達成できる役割を構成し提供している。自身の役割や楽しみをケアプランに入れて実践している。		
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	気の合う入居者様同士で会話が弾んでいる場面が毎日ある。外出できない分、ホーム内での関りや庭いじりに力を入れる等、職員が中に入り1日の生活の中で活動場面をつくり楽しむ事は多かった。	(A~Dの中から1つ選択) Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	「自宅に居る時よりははるかに生き生きとしている。」
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	コロナ禍により外出が制限されており、外での活動は今年も出来ていなかった。	(自由記入)	
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくことができている	Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	コロナ禍により対面での地域交流を行っていないが職員とは親しい関係性を築き安心して下さる面も感じている。帰宅願望が全くなくなった方もおられ、機能訓練により身体機能の維持または向上された方も居られる。職員との関係は良いと思う。	(自由記入) (A~Dの中から1つ選択) Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	窓越し面会時や家族との電話の時に「良い所だ」「別荘の様だ」と話している母を見て表情からも本当に居心地が良いのだな、と感じている。また、「職員に何か買ってあげたい」と母が言っている。というご意見を頂いた。

令和4年度 利用者ご家族等アンケート 集計

- (1) ご家族は、事業所にどの程度訪問していますか？
1. 頻繁に訪問…1件 2. 必要な時のみ…9件 3. 殆ど行かない…2件
4. その他…2件【コメント：コロナで控えている】
- (2) 職員は、ご家族の困っていること、不安、求めていること等の話をよく聞いていますか
1. よく聞いてくれる…13件 2. まあ聞いてくれる…1件 3. あまり聞いてくれない…0件
4. 全く聞いてくれない…0件
【各々の立場で解決法を共に導き出している・不調時の状況と対応の説明がある】
- (3) 事業所での暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について報告がありますか
① 暮らしぶり健康状態- 1. よくある9件 2. 時々5件 3. 殆どない0件
4. 全くない0件
② 金銭管理- 1. よくある6件 2. 時々1件 3. 殆どない4件 4. 無1件
③ 職員の異動-1. よくある3件 2. 時々3件 3. 殆どない4件 4. 無3件
【お便りや会議報告書に詳しく書いてあり、写真を見るのも楽しみ】
- (4) 職員は、ご本人の介護計画をご家族にわかりやすく説明し、一緒に内容に関する話し合いをしていますか
1. 説明を受け一緒に話し合っている14件 2. 説明のみで話し合っていない1件
3. 説明も話し合いもない0件
【コメント：細かく説明してくださる、質問にもすぐに答えてくれる・プランに載せきれない必要な情報も説明時に報告がある。細やかだと感じる】
- (5) 職員はご本人の思いや願い、要望等をわかってくれていると思いますか
1. よく理解している10件 2. まあ理解している4件 3. 4 0件
【コメント：家族よりもスタッフのほうが良く理解されていると思う、等】
- (6) ご家族やご本人のその時々の状況や要望に合わせて、柔軟な対応をしていますか
1. よく対応している12件 2. まあ対応している1件 3. あまり対応してくれない0件 4. 全く対応してくれない0件
【コメント：外部受診のときに行けず、すぐに対応してくれた・本人や家族の事をよく理解してくれている等】
- (7) 事業所のサービスを利用することで、ご本人の生き生きとした表情や姿が見られるようになりましたか
1. よく見られる8件 2. 時々2件 3. ほとんど見られない1件 4. 不明2件
【笑顔が増えた・入所後、明るく生き生きした様子に驚いている・こちらの事業所を選び本当に良かったと思う。質の高いサービスの提供をしている等】

- (8) 職員に支援されながら、戸外の行きたいところへ出かけていきますか
1. よく出かけている1件 2. 時々0件 3. 殆ど出かけていない2件
4. わからない7件【コロナ禍でこの質問は不適切。人欠の介護業界に於いて本人の希望に添えるほど状況は甘くない・コロナ禍であるので致し方ない】
- (9) 事業所のサービスを受けていて、ご本人の体調面や医療面、安全面について心配な点はないですか
1. 全くない7件 2. あまりない5件 3. 少しある0件 4. 大いにある1件
【コメント：全信頼している。医療機関と連携してくれている。転倒が心配】
- (10) 通いの場やグループホームはご家族が気軽に訪ねていきやすい雰囲気ですか
1. 大変行きやすい8件 2. まあ行きやすい4件 3. 行き難い1件
- (11) ご家族からみてご本人は今のサービスに満足していると思いますか
1. 満足していると思う9件 2. どちらともいえない1件 3. 不満があると思う1件 4. わからない1件
【独居だったので人がいることで安心していると思う、本人ではないので分からないうが、帰りたいと言わないので満足してるので長年住んでおり自宅の様、等】
- (12) ご家族は、今のサービスに満足していますか
1. 大変満足している11件 2. まあ満足している2件 3. 少し不満0件
4. わからない0件
【コメント：とてもアットホームでスタッフの皆さんもてきぱきされている。自分も将来お世話になりたいと感じる。大変満足。感謝。】

【利用されている事業所の良い点、優れている点など】

- ・食事がとてもおいしそう。
 - ・優しく接してくださる。安心。・キメ細やかな対応に感謝している。
 - ・質の高いサービスの提供、人材育成、介護を支える側において厳しいにもかかわらずそれを感じさせない、明るく活気に満ち溢れているスタッフにプロ意識を感じる。
 - ・細かいところまでよく見ててくれている。
 - ・行事ごとを大事にしてくれているのが嬉しい（お誕生日や季節イベントなど）
 - ・いつも清潔で実家に居る様なホーム。スタッフの明るい対応が良い。ほっこりする。
 - ・窓越し面会時の写真を便りに載せてあり家族の事も大切に思っているところが嬉しい。
 - ・職員の連携が良いと感じる。・清潔。整理整頓されている。
 - ・入居者に一度もコロナの感染者がないのはすごいです。（ホーム内に持ち込んでいない）
- ### 【利用されている事業所に改善してほしい点、気になる点】
- ・コロナ終息の際には外出したい・以前のような交流会的なイベントがほしい・引き続き家族に寄り添った運営を・面会制限の改善を。

※以上、ご協力ありがとうございました。

令和4年度 外部評価のまとめ

2023年1月15日

«コロナ禍により評価不能という意見»

★事業所と地域とのつきあい

- ・行動範囲が制限されているので、交流が難しいのではないか。
- その中でも防災訓練等に近隣の役員の参加は心強いと思う。
- ・その他「よくわからない」というご意見。

★身体拘束をしないケアの実践

虐待の防止の徹底

- ・内部に一度も立ち入っていないので評価することができない
- ・過度な制限は反対だが、反危険防止や職員のストレスにつながり兼ねず、現場での実態に合わせた対応が適切である。
- ・繰り返し研修や勉強会を実施しており、職員の方々は意識は高く持っていると思う。

«多数意見»

★役割、楽しみごとの支援

やはり、コロナ禍で制限されている面もあるが、ホーム内でできることを実施してくれて有難い。

ホームという小さな社会の中で、役割を見出して頂き、居場所を作つて頂き感謝している。

表情を見てホームの生活が母に合っていることがわかる。

お便りの写真がいつも良い顔をしている。電話の声も楽しそう。本人が「楽しい」と話している。

★日常的な外出支援

コロナ禍では無理なことは理解している。

外出できない母に代わって「写真で行ってみたシリーズ」の写真は面白かった。

目的地に行く外出も大事だが、近くを散歩する事を積極的に支援してくれて有難い。

★生活の継続性

- ・コロナ禍収束後期待している。
- ・ホーム外での生活の継続性は、コロナ禍でかなり制限されたが、ホーム内の生活の継続性は成立していると思われる。

★就業環境の整備

- ・存知得る立場ではないため、とのことで 未回答多数。
- ・やめるスタッフが少ない様なので就業環境の良さは整備されているのだと思う。
- ・就業環境はホームごとに整備するだけでなく、国がもっと給与水準を考えてあげるべき。

★チームでつくる介護計画とモニタリング

- ・個人を十分に把握し、個々の介護計画を策定している。
- ・いつも丁寧に説明してくれ、質問にも答えてくださる。
- ・フレイルが増えている中、施設にジムを作られたのは素晴らしい。有効利用の継続とプラン作成に活かしてほしい。

★総合

入居者の方と職員の方が楽しそうに会話している姿をよく見る
本人が“幸せ”と言っているので充分にできていると思う。
本人が職員に多大な信頼を持っている。
安心して笑顔で過ごせている。
家にいる時より明るい。表情が良い。
きめ細かいお世話をありがとうございます。
知り合いの親も別のホームに入所している話をして嘆いているが、母は愛の家で良かったと思った。
何かあった時等、マメに連絡を頂き有難い。大変満足している。
評価しにくい質問が多い。質問内容を検討してほしい。
ご協力、誠にありがとうございました。

愛の家グループホーム横浜菅田
ホーム長 大河原 聰子

以上

別添3

目標達成計画

事業所名 愛の家グループホーム横浜菅田

作成日 2023年2月19日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ禍に於いては行動範囲が限られてしまつた為、困難であった。	新型コロナウイルスが第五類扱いとなつた場合は地域貢献に力を入れる。	ハマロードサポートとしての活動を実施する。パトロールは開始済、地域清掃を実施予定。	1年間
2	13	コロナ禍を理由にするわけではないが、連絡会や勉強会には不参加であった。疎遠になりつつある事業所もある。	時期を見ながら防疫体制を講じた上ででの交流に積極的に参加する。	リモートでの勉強会は参加できていたが、今後は相互訪問を防疫対策を講じた上で実施する。	1年間
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。